社長の一人言

和田工業

ボイラーの保守・点検

（最終章−1）

まれにおき得る故障の症状。

1）決まった時間帯にバーナーが運転しない。

朝日、夕日または太陽の光が当たる場所にボイラーが設置して有りますと、決まった時間もしくは昼間の時間帯にバーナーが運転しない場合が有ります。

（バーナー内部の光電管が光を感知してバーナーが燃焼状態と判断してしまう為に起こる現象です、光電管は正常に機能しています。）

対処法1：バーナー上部、のぞき穴に黒いテープを張り光がバーナー内部に、入らない様にして下さい。

対処法2：ボイラー設置場所に、強い光が入らない様な構造にして下さい。

この様に

2）バーナーが燃焼し始めた後、しばらくすると止まってしまう。

対処法：まれにスズメが、エントツ内部に巣を作って居る場合がありますので、確認をお願い致します。

（わら等でエントツが燃焼ガスを排気出来ない為に起こる現象です。）

火災予防のために エントツ貫通部の目視点検のお願い。

目視点検：エントツ貫通部周りの木質材の変形、黒ずみ、焦げ目等が無いか時々目視で確認の程、くれぐれもお願い致します。

火災予防のために！

WADA

社長の一人言

和田工業 ボイラーの保守・点検

（最終章−2）

日常使用している時とは違う音がする場合。

1）モーター部分から金属音がする場合。

モーターのベアリングが悪く成りかけて居ますので交換が必要です。

2）バーナーポンプ部分から悲鳴の様な音がする場合。

油配管のバルブが閉まっているか、油配管が詰まっている場合に音がします。（バーナーポンプが油を吸おうとしても、吸えない時に出る悲鳴の音です。）

3）振動する様な燃焼音がする場合。

a）シロッコファンに埃が付き、燃焼に必要な空気が補給されていない場合。（風量調整ハンドルを数字の大きい方に少し回しますと止まりますが、高圧エアー等でバーナー内部の清掃をお勧め致します。）

b）不着火警報が出た後に、リセットボタン復帰後の燃焼時に起きる場合。（プロテクトリレーが2〜3回燃焼を試みた時に、噴射した油も同時に燃える、過剰燃焼音なので暫く燃焼させますと収まりますが、一度点検をお勧め致します。）

＊解らない時には、分解などされずに当社またはサービス店にお問合せ後指示に従い分解もしくは調整を行なって下さい。
＊全10ページを綴じて保管して置いて置かれますと、修理・点検マニアルとしてお役に立つと思いますので保存して頂ければ幸いです。

WADA

バーチャルサーバー　wada-kk.co.jp

和田工業株式会社

〒504-0957　岐阜県各務原市金属団地５０番地
TEL:0583-82-1291(代)/FAX:050-3391-8648(OCN)
IP:050-3386-8491(代)(OCN)　VP:0570-003303-1291
W-NET FAX:fax@wada-kk.co.jp　E-mail:info@wada-kk.co.jp

QRコード